

日付	令和5年11月24日
担当所属	山梨県立青洲高等学校
担当者名	教頭 中川 貴博
連絡先	055-272-1161

青洲高等学校 令和5年度第31回全国高等学校生徒商業研究発表大会で20校中第1位となる最優秀賞を獲得

青洲高等学校は、全国大会で関東ブロック代表として発表し、出場20校中第1位となる最優秀賞を獲得しました。また、文部科学大臣賞、産業教育振興中央会賞もあわせて授与されました。本校にとっては初出場・初優勝であり、全国最優秀賞は山梨県勢としても初めてとなります。

【全国大会の概要】

- 1 日時 2023年11月22日（水）
- 2 場所 東京・江戸川区総合文化センター
- 3 大会概要

- ◆主催 全国商業高等学校長協会 公益財団法人全国商業高等学校協会
- ◆後援 文部科学省 京都教育委員会 公益財団法人産業教育振興中央会 日本経済新聞社
- ◆出場校 北海道ブロック2校、東北ブロック2校、関東ブロック3校 北信越ブロック2校、東海ブロック2校、近畿ブロック2校、中国ブロック2校、四国ブロック2校、九州ブロック3校、の計20校

【研究の概要】

- 1 テーマ 「素人質問で恐縮ですが、その水マジ何なん？」
- 2 契機
青洲高等学校には、商業科・工業科・普通科が設置されている。工業科の実習の排水処理を低コストで実施できないか検討したところ、町の伝統産業である和紙作りの工程で利用できるとわかった。そこで、排水状況を調査し、排水を峡南地域の和紙産業に活用し、さらにビジネスとして発展させることはできないかと研究を始めた。
- 3 研究目標
アップサイクルを活用したビジネスモデルの構築と伝統産業の発展。
- 4 仮説
持続可能な共創型ビジネスモデルの構築により、排水の活用と地域の伝統産業の活性化を実現することができる。
- 5 成果
 - ①排水コストが大幅に削減できた。
 - ②和紙製造コストが大幅削減できる見込みとなった。
 - ③サウナハットの販売を開始し、ビジネスチャンスが拡大した。
- 6 仮説の検証
今回のプロジェクトは地元企業との商品開発として「共創型ビジネスモデル」が成立し、大きな成果をあげられることがわかった。併せて仮説の立証をすることができた。

○【問い合わせ先】 山梨県立青洲高等学校 教諭 今村 明男
TEL 055-272-1161

○校内では今後、報告会をする予定です。（時期未定）